

野菜花き 7月下旬巡回調査結果の概要について

【東北信】 巡回日 7月23日、24日、27日

1 トマト

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は、収穫中であった。オオタバコガの産卵が6月下旬から継続して確認され、被害果もわずかにみられた。また、アザミウマ類の寄生が多く、果実に白ぶくれ症がみられた（図1）。病害はみられなかった。

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は、着果中であった。オンシツコナジラミの寄生が多くなり、成虫のほか幼虫がみられた（図2）。そのほか、ハモグリバエ類の寄生がわずかにみられた。病害では、斑点病がわずかにみられ（図3）、7月上旬の調査でみられたうどんこ病は防除により抑制されていた。



図1 アザミウマ類によるトマトの白ぶくれ症果（小諸市）



図2 トマトに寄生するオンシツコナジラミの成虫と幼虫（長野市）



図3 トマトの斑点病（長野市）

2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は、収穫中であった。病害では、うどんこ病の発生がみられたが、防除や摘葉により抑制されていた。虫害では、アザミウマ類が中程度の発生、ハモグリバエ類の寄生がわずかにみられた。

中野市の巡回ほ場（露地栽培）は、収穫中であった。病害では、葉に灰色かび病の発生がみられた（図4）。虫害では、花にアザミウマ類の寄生がみられたが前回調査よりも減少していた。ほかにハモグリバエ類の寄生がみられたが少発生であった。



図4 きゅうりの灰色かび病（中野市）

3 いちご

南牧村の巡回ほ場は、収穫期であった。

虫害では、アザミウマ類の寄生花率が、前回調査よりも著しく高くなり、被害花もみられた（図5）。病害の発生はみられなかった。

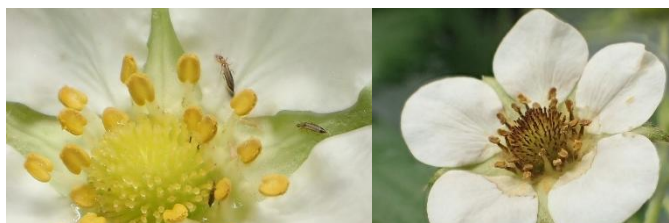


図5 いちごの花に寄生するアザミウマ類と被害花（南牧村）

4 キャベツ

小諸市の巡回ほ場は定植直後、軽井沢町の巡回ほ場は生育初期（5葉期）であった。いずれも病虫害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場及び長野市の巡回ほ場は、収穫が終了していた。

5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場は、生育初期（7葉期）であった。虫害では、チョウ目害虫の被害株がみられた。病害の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は、生育期（14葉期）であった。虫害では、コナガを主としたチョウ目害虫の被害株が目立ったほか（図6）、アブラムシ類の寄生がわずかにみられた（図7）。病害の発生はみられなかった。



図6 ブロッコリーに寄生するコナガ（南牧村）



図7 ブロッコリーに寄生するアブラムシ類（南牧村）

6 はくさい

上田市の巡回ほ場は、生育初期（6葉期）であった。虫害では、チョウ目害虫のほか、キスジノミハムシの食害がみられた（図8）。病害の発生はみられなかった。

小諸市の巡回ほ場は、未定植であった。

小海町の巡回ほ場は、結球期であった。

虫害では、チョウ目害虫の被害株がわずかにみられた。病害では、尻腐病の発生がほ場内で散見された（図9）。

南牧村の巡回ほ場は、生育期（9葉期）であった。チョウ目害虫の被害株がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。



図8 はくさいに寄生するキスジノミハムシ（上田市）



図9 はくさいの尻腐病（小海町）

7 レタス

上田市の巡回ほ場は、結球期であった。菌核病、すそ枯病の発生がわずかにみられた。虫害の発生はみられなかった。

小諸市の巡回ほ場は、収穫期であった。すそ枯病の発生がわずかにみられた。虫害の発生はみられなかった。

御代田町、南牧村の巡回ほ場は、結球期であった。いずれもすそ枯病の発生もわずかにみられた。虫害の発生はみられなかった。



図10 レタスのすそ枯病（南牧村）

8 アスパラガス

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎期であった。アザミウマ類の寄生株率が前回調査よりも高くなったほか、ジュウシホシクビナガハムシ幼虫の寄生がみられた（図11）。病害の発生はみられなかった。

小布施町の巡回ほ場（雨よけ栽培）は、立茎期であった。虫害では、ハダニ類の寄生株率は前回調査より少なかったが、アザミウマ類の寄生株率は高かった。病害の発生はみられなかった。

飯山市の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎期であった。病害では、茎枯病が前回調査よりもやや拡大していた。虫害では、アザミウマ類の寄生株率が高かった。



図11 アスパラガスに寄生するジュウシホシクビナガハムシの幼虫（小諸市）

9 ながいも

長野市の巡回ほ場は、生育期であった。病虫害の発生はみられなかった。

10 ばれいしょ

小諸市の巡回ほ場は、地上部が整理されていた。病虫害の発生はみられなかった。

11 きく

佐久穂町の巡回ほ場は、着蕾期（開花直前）であった。病害では黒斑病（図12）、虫害ではアザミウマ類による加害痕がわずかにみられた。



図12 きくの黒斑病（佐久穂町）

【中南信】 巡回日 7月21日、22日、23日、24日

1 トマト

南箕輪村の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫が終了し、抑制裁培に向けて準備中であった。

松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫が終了していた。

伊那市の巡回ほ場（露地栽培）は、着果中であった。葉にアブラムシ類（少発生）の寄生がみられたほか、茎葉および果実にオオタバコガ幼虫（少発生）の寄生がみられた。病害の発生はみられなかった。

安曇野市の巡回ほ場（露地栽培）は、着果中であった。茎葉および果実にオオタバコガ幼虫（少発生）の寄生がみられたほか、花にアザミウマ類の寄生、果実にアザミウマ類幼虫による白ぶくれ症（いずれも少発生）がみられた（図13）。



図13 トマトの白ぶくれ症果（安曇野市）

2 きゅうり

松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、定植直後であった。病虫害の発生はみられなかった。

高森町の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。花にアザミウマ類（少発生）の寄生がみられ、前回調査時とはほぼ同程度の密度であった。

3 すいか

飯島町および松本市の巡回ほ場は、いずれも収穫期であった。病虫害の発生はみられなかった。

4 キャベツ

塩尻市の巡回ほ場は、収穫期であった。株全体にアザミウマ類成虫及び幼虫が高密度で寄生しており、外葉から結球部まで全体的にかすり状の食害がみられた（図14）。

朝日村の巡回ほ場は、未定植であった。

茅野市の巡回ほ場は、収穫期であった。病虫害の発生はみられなかった。



図14 キャベツに寄生するアザミウマ類（塩尻市）

5 はくさい

木祖村の巡回ほ場は、定植直後（収穫終了によりほ場変更）であった。病虫害の発生はみられなかった。

6 レタス

塩尻市および朝日村の巡回ほ場はいずれも生育期（8～9葉期）であった。病虫害の発生はみられなかった。

7 アスパラガス

豊丘村の巡回ほ場（雨よけ栽培）は、立茎中であった。擬葉にアザミウマ類およびアブラムシ類（いずれも少発生）の寄生がみられた。

飯島町の巡回ほ場（雨よけ栽培）は立茎中であった。擬葉にアザミウマ類（少発生）、チョウ目（少発生）およびハダニ類（中発生）の寄生がみられた。病害では、茎枯病（少発生）の初発が確認された。

松川村の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎中であった。擬葉にアザミウマ類（多発生）の寄生がみられ、肉眼でかすり状の被害が確認できるほど、非常に高密度であった。

8 ねぎ

南箕輪村の巡回ほ場は、本葉8.0～9.0葉であった。葉に黒斑病（多発生）およびさび病（中発生）の発生がみられ、いずれも前回調査より被害が拡大していた。虫害についても、前回同様、葉にアザミウマ類およびネギハモグリバエ幼虫（いずれも多発生）の寄生がみられた。

山形村の巡回ほ場は、本葉6.0～7.0葉であった。前回同様、葉にアザミウマ類（多発生）およびネギハモグリバエ幼虫の寄生（中発生）がみられた。病害では、黒斑病およびさび病（いずれも少発生）の初発が確認された。

9 ながいも

山形村の巡回ほ場は、生育期であった。病虫害の発生はみられなかった。

10 きく

富士見町の巡回ほ場は、生育期（草丈約24cm）であった。病虫害の発生はみられなかった。